

(中国乙12)
細菌性・アメーバ性赤痢
発生推移
= 2024年7月度 =

発表: 2024年08月28日 国家NDPCA

作成: 2024年08月31日
日中医療衛生情報研究所

細菌性・アメーバ性赤痢

- 患者発生のパーク期は夏場の7～9月
- 年間患者発生数は、2008年から年々減少しており、
2016年9月から2021年1月まで53カ月連続で
月間発症者数の『過去最低記録』を更新。その後、
2021年5月からまた過去最低記録更新始まり減少傾向に
2015年は138,917人、2016年は123,283人、
2017年は109,368人、2018年は 91,152人、
2019年は 81,075人、
2020年は 57,820人(コロナの影響?)
2021年は 50,403人、2022年は 35,951人、
2023年は、 35,733人(速報ベース)だった。

乙12：細菌性・アメーバ性赤痢

